

第 18 期第 7 回 地域農林経済学会常任理事会議事録（案）

日時：2012 年 4 月 21 日（土） 15：00—17：00

場所：京都大学農学研究科 生物資源経済学専攻第 1 会議室

議長：小田滋晃

出席者：宇山 満、浦出 俊和、大西 敏夫、加賀爪 優、岸本 喜樹朗、仙田 徹志、高田 理、
辻村 英之、中塚 雅也、中村 貴子、福井 清一、増田 佳昭、横溝 功
（以上、14 名 五十音順）

1 加賀爪会長より開会の挨拶がなされた。

【議題および報告】

（1）大阪大会の準備状況について（庶務）

小田理事より第 3 回実行委員会が開催されたことが報告された。

（2）学会諸賞の選考について（福井副会長）

福井副会長より、資料に基づき、選考委員会の構成および選考手順について説明があり、原案通り、了承された。なお、学会賞選考委員会の選考委員会は 9 月 3 日とすることが報告された。学会誌賞第 2 回選考委員会は 8 月 3 日夕方から行われることが確認された。

（3）会員異動等について（組織）

岸本組織担当理事より、会員異動について資料に基づき報告があり、退会者外国人 1 名については、未払会費があるために、推薦者に照会することとし、了承された。

（4）会計等について（会計）

浦出担当理事より、宅配便料金の口座振替について、中西印刷からの問い合わせについて、報告がなされた。また、告知が必要なものがあれば、予算上、可能である旨の提案があり、各担当より庶務担当理事に連絡することで了承された。

（5）名誉会員の候補者及び推薦について（庶務）

仙田庶務担当理事より、資料に基づき、今年度は推薦者がいないことが報告され、原案通り、了承された。

（6）学会誌編集状況について（編集）

中村編集担当理事より、資料に基づき報告があり、編集状況については、了承された。

J-Stage への論文掲載に関連して予想される費用負担問題については、以下の通り了承された。

①学会誌の方針（J-Stage の継続、紙媒体の発行）、および J-Stage へ論文を掲載するメリット（意義）を、編集担当理事で検討する。②編集担当理事の検討結果を受けて、J-Stage の継続

性については常任理事会にて検討する。ただし、時間的余裕がないので、常任理事のメール稟議とする。③学会誌の方向性が承認された後に、会計担当理事において費用負担方策について検討する。

学会サイトにおける J-Stage リンクは了承された。

小特集については、資料の通り、報告された。

(7) 2013 年度学会大会の開催地について (会長)

加賀爪会長より、2013 年度開催校について近畿以外の複数校に打診していることが、報告された。

(8) 学会業務委託に関する WG について (高田副会長)

高田副会長より、資料に基づき、以下の通り、WG からの報告、各担当への依頼、および契約見直しに向けたスケジュール確認があり、了承された。

中西印刷以外に業務委託の業者が見当たらなかったこと、および各担当からは軽微な業務改善提案しかなかったことから、業務委託値下げに結びつかなかったことが述べられた。

各担当 (特に企画と編集) において業務改善・合理化案を検討し、提示すること、業務委託の相見積がとれるような各担当の業務内容の整理を、7月20日までに高田副会長宛に行うことの依頼があった。あわせて10月28日までに、次期理事への業務委託内容の引継資料を準備しておくことの依頼があった。

2013 年からの契約見直しの協議を行うために、6月末までに会長から中西印刷に対し、契約内容見直しの希望の連絡を行うことが確認された。

今後のスケジュールは、7月20日に各担当での業務内容の見直しの締め切り、WG が各担当の提出内容を検討、次回常任理事会で WG の検討結果を審議、三役が理事会までに中西印刷と交渉、とすることが確認された。

(9) 農業経済関連学会連絡会議の報告 (会長)

加賀爪会長より、日本学術会議についての報告、次期において北東アジアにおける農業・生命科学の連携等の動向がなされ、JSPS については、科研費における細目の追加が検討されているが報告された。科研費については大規模科研費について依頼があったことが報告された。

(10) その他

岸本組織担当理事より、今年度の支部代表者会議については開催せず、10月開催予定の理事会では廃止する案を上程することで了承された。

中塚組織担当理事より、共著者も会員であることの検討も、前期の WG で検討されていることが紹介された。

前回常任委員会議事録について承認された。

高田副会長より閉会の挨拶がなされた。